



**WORLD BANK GROUP**

# アフリカの大学と日本の大学・企業の 連携可能性について

2018年10月25日

世界銀行 今泉沙織

# パートナーシップのビジョン

- アフリカの高等教育機関のキャパシティ向上:

日本からの支援(カリキュラム開発、教員・学生交流、共同研究、奨学金、研究費)＋世界銀行からの支援でアフリカの高等教育機関をグローバルレベルまで向上させる

- 日本とアフリカ地域全体との交流を可能にさせる:

世界銀行が融資するアフリカ地域レベルの高等教育機関プロジェクトとの協業で、政府、大学、教員、学生レベルの交流および日本の知見展開がアフリカ地域全体で可能となる

# 世界銀行が支援するアフリカの高等教育プロジェクト

ACE 1 ACE 2



## 1. ACE (Africa Centers of Excellence)

- 既存の高等教育機関におけるSTEM教育の強化と地域別専門産業の育成
- 選別された46センターが16か国に存在。
- 2014に採択され、約300億円の投資 (ACE1とACE2) (現在280億円のACE Impact (西アフリカ)を準備中)
- 各センターは約2から4億円受け取り、出版、カリキュラム開発、パートナーシップ開発、教員・生徒の交流などをパフォーマンス指標として投資

## 2. PASET (Partnership for skills in Applied Sciences, Engineering and Technology)

- PASETのフラッグシップであるRegional Scholarship and Innovation FundはNSFのアフリカ版。政府やドナーからの資金により基金を立ち上げ、応用科学技術関連のPhD奨学金、研究費、イノベーション促進費を提供。さらにキャパビル対象として選ばれる最大10校のアフリカの大学が海外大学や研究機関、企業とパートナーシップを築きつつ、品質を向上させる。

## ACEとのパートナーシップの機会

**アプローチ:** 日本の大学側からパートナーシップを組みたいACEセンターを選択いただき、世界銀行がACEセンターのセンター長と日本の大学の関係者を結び、話し合いを行い、連携の可能性を探る。連携が可能であれば大学同士のMOU締結に向けて進める。基本的にACEプロジェクトからの資金はACEへ流れるが、パートナーを組んだ日本の大学および企業も一緒に資金を利用できる。(内訳、用途は別途ACEとの調整による)

### パートナーシップオプション

- 共同研究 (企業との連携も推奨)
- 教員育成・カリキュラム開発支援(日本の教員をアフリカに、アフリカの教員を日本に派遣)
- アフリカの留学生受け入れ
- 産学連携(日本の企業+アフリカの大学+(日本の大学(ファシリテーターとして、または参加者として))

### ACEへの支援額(日本の連携大学、企業も一緒に当資金を利用)

共同研究: \$ 30k(300万)(国立機関)、\$ 40k(400万)(私立機関、または企業)

出版: \$ 20k(200万)(国外著者との共著の場合)

教員受け入れまたは留学生派遣時: \$ 8k(80万)

# PASETとのパートナーシップの機会

PASETとのパートナーシップは主にRegional Scholarship and Innovation Fund (RSIF)を通じた連携となる。

## <RSIFについて>

RSIFはPhD奨学金、研究費、イノベーション促進費を提供するSSA対象の基金。資金源は世界銀行の助成金(15億円)、PASETメンバーのアフリカ政府からの資金、および民間企業や他国、他ドナー機関(韓国からは10億円を授与)。一部の資金は寄付基金として投資に回し、基金の持続性を図る。その他現物出資で民間企業との連携等がある。

## 目的

- SSAで10,000人のASET分野の博士号取得者を育成。
- 少なくともSSAの10大学が高い質のPhD育成と研究を提供できるようにする。

## 方針

- アフリカの学生がアフリカの大学でトレーニングを受け、アフリカにその後留まりアフリカの発展のために貢献できるような環境づくり、およびアフリカの大学のキャパシティを向上を目指す。

## 支援対象者

- PhDをもっていないアフリカの大学で教えている教員
- 若いアフリカの科学者や技術者(今後アカデミア、産業、ビジネスなどで活躍する人)
- PhDを育成し今後国際的に認識されるようになるASET分野アフリカの大学



# PASET RSIFのPhD奨学金事業

- 各RSIFホスト大学にて約10名から15名のPhD奨学生を4年支援(\$100k(1000万円)提供される)
- 第一回奨学生はACEに選考された以下の大学に派遣される。今後新たにACE以外の大学を含む6つのホスト大学および奨学生の選考が実施される。
- 奨学生は4年のうちの2年間RSIFが提携した海外の大学で研究を行う(第一回は韓国)

	Thematic Area	Country (City)	Africa Center of Excellence (ACE)	University
1	Food Security	Côte d'Ivoire (Abidjan)	CCBAD- ACE for Climate Change Biodiversity and Sustainable Agriculture	University Félix Houphouët-Boigny
2		Tanzania (Morogoro)	SACIDS- ACE for Infectious Diseases of Humans & Animals in Southern & Eastern Africa	Sokoine University of Agriculture
3	ICT	Senegal (St. Louis)	MITIC – ACE for Mathematics, Computer Science, and ICT	University of Gaston Berger
4	Materials, Mining & Minerals Engineering	Nigeria (Abuja)	PAMI – ACE for Materials science and engineering	African University of Science and Technology

# PASET RSIFとの協業の機会

## 協業オプション

- PhD奨学生受け入れ(研究期間4年のうち中2年を日本の大学で共同研究を実施。日本の大学からの授業料免除は最低望まれる。生活費はRSIFからカバーされる場合もあるが要調整)
- 教員育成およびカリキュラム開発支援(教員派遣および受け入れ。または研究方法や教員育成事業をコンソーシアムとしてRSIFのホスト大学にて実施)
- 共同研究(アフリカの大学と協業でRSIFの研究費に応募)
- イノベーションプロジェクトの開発(アフリカの大学と協業でRSIFのイノベーション促進費に応募)
- 産学連携(日本の企業+アフリカの大学+(日本の大学))による共同研究およびイノベーションプロジェクトを開発および資金に応募

## ACEとの違い

- 大学のセンターレベルではなく大学全体とMOUを結ぶことでより幅広く交流が行える。またRSIFホスト大学がMOUを結んでいる海外の他大学(韓国、オランダなど)とも交流が可能。
- イノベーション基金が提供されるため研究の実装化や産学連携が可能。
- PASETメンバー国の教育大臣が支援しているためハイレベルな交流も可能。また日本のビジビリティーをアフリカで向上させるのに好機会。



# ACE/PASETネットワーク

- 6か月毎にアフリカのACEホスト国で開催されるACEのRegional Meetingへの参加も可能
- PASETのRSIFのパートナー大学になることでPASET Forum（2年毎に開催）などに参加が可能





(ACE、PASETに関するフォローアップ)  
教育グローバルプラクティス 教育専門官  
今泉 沙織

[simaizumi@worldbank.org](mailto:simaizumi@worldbank.org)

(日本の大学・大学院との連携構築全般)  
東京事務所 上級広報担当官  
大森 功一

[komori@worldbankgroup.org](mailto:komori@worldbankgroup.org)